

<空の安全・安心を！整理解雇四要件を守れ！>

No.11

JAL闘争を支える京都の会News

2012.11.18

京都市東山区今熊野南日吉町 17 FAX:075-531-3856 E-mail:kamai123@kfa.biglobe.ne.jp

稲盛財団「第28回(2012)京都賞授賞式」 抗議宣伝行動おこなわれる



11月10日、一昨年大晦日のJAL165名の不当・大量解雇を指揮したJAL稲盛和夫名誉会長の年間メイン・イベントー稲盛財団「第28回(2012)京都授賞式」会場の宝ヶ池・国立京都国際会館前において、JAL不当解雇撤回原告団とJAL闘争京都共闘共催の抗議宣伝行動が行われ、「JAL闘争を支える京都の会」からも参加しました。

「JAL未公開株の売買で大もうけ」と週刊誌報道されたJAL稲盛和夫名誉会長、そんなこんなで大もうけしたお金で「稲盛財団」を作り、一人なんと5000万円もの賞金を手渡す「京都賞」授賞式を行ないました。毎年宝ヶ池の京都国際会館で表彰する式典がなされています。年1回で、今年でもう28回目とか。京セラやJALの労働者の血と汗と涙の結晶が、稲盛氏の名誉欲を満足させるために使われています。そんなお金があるのなら、解雇したJAL労働者を職場に戻すべきではないでしょうか。



抗議行動後の総括集会では、「国労京滋地区本部」「きょうとユニオン」「JAL闘争を支える京都の会」「大阪全労協」からJAL不当解雇撤回をめざしてともに闘うとのアピールがあり、最後にJAL原告団（5名が参加）より「勝利するまで死に物ぐるいで闘う」との決意表明がありました。

